

**平成30年(2018). 4月以降の
川崎地区まちづくり計画書**

平成25年(2013).4月 川崎地区まちづくり協議会発足

**平成28年(2016).5月 亀山市
全22地区 まちづくり協議会発足**



峯城址



日本武尊(ヤマトタケル)の御陵

川崎地区まちづくり協議会

1. はじめに

亀山市の北東部に位置する川崎地区は、市内22地区の中で二番目の人口を有し(H30.1.1 現在 6,726人)、広大な土地は自然豊かで、といわけ三川がその象徴といえます。又、多くの企業進出もあり工業と自然が調和した「まち」といえます。

一方では、古墳群、県史跡指定の峯城址及び、伝説上の英雄であるヤマトタケルの御陵等、歴史的な史跡も存在します。

近年、南海トラフ大地震が取り沙汰されますが、当地区での自然災害は、昭和34年(1959)の伊勢湾台風と、昭和49年(1974)の大雨による橋梁損壊と床下浸水があげられます。又、歴史的にみても交通の要衝でもあったことから交通インフラも整備されており、住環境は最適といえます。

現在、人口減・少子高齢化・価値観の変化等々社会的課題はありますが、“私たちの地域は私たちが守り創る”を掲げ皆さんと共にまちづくりを進めよう。

平成25年(2013). 4月設定の 基本理念 / 目的 / 行動指針

基本理念

自助・共助、そして共生

個々の自立から、支えあい・助け合い
自然・史跡・産業との共生

目的

域内住民ひとり一人が、自然・文化・産業等を大切に生き活きと生活し、連帯感を持ちつつ自助・共助で社会参画できるまちづくりを目指す

行動指針

- 一、少子高齢化へ向けた福祉事業の充実
- 一、歴史・文化を大切にした自然環境の保護
- 一、連帯感を持った世代間交流と、次世代の育成
- 一、安全・安心を基本とした取組の具現化

2. 当地区が誇れること

- | | |
|-----|---|
| 史 跡 | ・徳原、名越地区の古墳群
・伝説の英雄 ヤマトタケルの御墓と祀られている能褒野神社
古事記(712年) 日本書紀(720年) |
| 自 然 | ・秀吉に攻められ落城した峯城址跡(1586年)
員弁と亀山を結ぶ「巡見街道」が通る要衝の地 |
| 産 業 | ・三川が「安楽川/八島川/御幣川」流れる豊かな自然
御幣川では鮎が採れ伊勢神宮に奉納されたとか
・農業と工業にみられるような産業の調和
米/麦/大豆/茶から野菜、上場企業の進出
・未来への夢も
リニア中央新幹線の開業 15年後
鈴亀高架道路の開通 30年後
国道306号線との交差
渋滞緩和
インターチェンジ |

3. 当地区の課題

- ・自治会未加入者の増加予想
- ・地区老人会の加入者減と解散
- ・(地域差はあるが)若者家族の減少
- ・(地域差はあるが)空家の増加
- ・コミュニティバスの利用者が増えない
- ・耕作放棄地の増加
- ・里山の荒廃、獣害の増加
- ・緊急車両が入れない道路の狭さ 救急車/消防車
- ・橋梁、水道管の老朽化
- ・熟年者と若年者とのコミュニケーションギャップ
- ・地域文化の衰退
- ・地域の担い手不足

人間関係の希薄化と、地域社会の脆弱化

4. 今後のまちづくり計画 発足6年目を迎えて

川崎地区振興会(昭和54年)、川崎地区コミュニティ(平成9年)

先人が築いた土壌(知恵・功績)を活かしさうに進化を

長期スローガン = 今後の10年間 =

「一体感の醸成から、より活き活きとした“まちづくり”へ」

中期スローガン = 今後の5年間 =

『川崎の良さを生かした“まちづくり”と発信』

平成30年度重点推進項目

人材の発掘と登録、活用

各部会の自立と活性化

広報活動の充実

～ 負荷を感じない事業企画 やらされ感よりの脱却 ～

5. 本部、自治会及び各部の役割

本 部	“ふれあい/ささえあい”事業、行事の構築
自治会	住民の安全・安心を基軸とした自主活動展開
福祉部	包括福祉活動の具現化
防犯部	防犯啓蒙活動展開
消防団(第四分団)	減災へ向けた防火・防災技術の伝承
老人部(シニアクラブ)	健康増進へ向けた相互研鑽
文化教養部	現事業の継続と新規事業への摸索
スポーツ振興部	スポーツを通じての世代間交流と次世代育成
女性部	女性の社会参画事業具現化
歴史環境部	史跡保存と環境保全

6. 本部、自治会及び各部の展開

本 部 “ふれあい/ささえあい”事業・行事の構築

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
広報活動見直し	○			○		
住民意向調査(アンケート)		○		○		
まち協発足10周年記念事業企画		○		○	○	○
峯城址跡及び周辺里山構想			○	○	○	○

自治会 住民の安全・安心を基軸とした自主活動展開

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
抱える課題展開推進	○	○	○	○	○	○
自治会長研修実施	○			○		
安全安心マップ懸案項目推進	○	○	○	○	○	○
コミュニティバス利用促進	○			○	○	○

福祉部 包括福祉活動の具現化

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
民生・児童委員、主任指導員との連携	○			○		
幼児サロン、高齢者サロン企画	○			○		
既存事業 熟年の集いの見直し進化		○		○	○	○

防犯部 防犯啓蒙活動展開

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
住民参加の防犯パトロール実施	○			○		
出前講座企画実施	○			○		
課題・懸案抽出と行政への打上げ	○	○		○	○	○

消防団(第四分団) 減災へ向けた防火・防災技術の伝承

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
自治会自主防災会への支援	○			○		
初期消火訓練	○			○		
現倉庫老朽化に伴う新築具現化			○	○	○	○

シニアクラブ

健康増進へ向けた相互研鑽と展開

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
中央公民館出前講座への参画	○			○		
自主事業(春季/秋季)の実施と進化	○			○		
川老連の改革構想具現化	○			○	○	○

文化教養部

現事業の継続と新規事業への摸索

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
文化祭の継続と進化	○			○		
農芸祭(農產品品評会)の継続と進化	○			○		
新規事業の摸索		○		○	○	○

スポーツ振興部

スポーツを通じての世代間交流と次世代育成

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
現事業の継続と進化	○			○		
市民駅伝大会への復活参加	○			○		
新規事業の摸索		○		○	○	○

女性部

女性の社会参画事業具現化

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
ママ友サロン構築提案	○			○		
女性主体の出前講座企画実施	○			○		
新規事業の摸索		○		○	○	○

歴史環境部

史跡保存と環境保全

	実施時期			実施主体		
	短期	中期	長期	地域	協働	行政
史跡ウォーキングマップ作成	○			○		
史跡語り部養成		○		○	○	○
環境懸案項目行政への提言	○	○	○	○	○	○

7. むすび

近い将来、少子高齢化の影響から日本の総人口が4,000万人減の8,000万人と推測されています。この人口減少は、私たちの生活に大きな影響を及ぼすとされており、産業構造の変化と税収減が顕著とされています。

現在、当たり前とされている行政よりのサービス享受がままならない事態へと向かっているのです。すべてに対し悲観的に考えるのではなく、一人ひとりが出来る事から行動し、課題懸案には支えあいながら対応し、時には行政との協働で進めようとここに提案する次第です。

川崎地区に住まわれる住民の皆様は、「おっとりはしているものの気の優しい」方々ばかりです。ここでこの地の良さをもっと発見して、「住んでよかったです・住みたいまち」と発信し、もっともっと活気あふれるまちとして行こうではありませんか。

川崎地区まちづくり協議会